

測量機・測定器

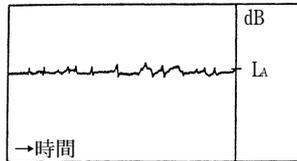
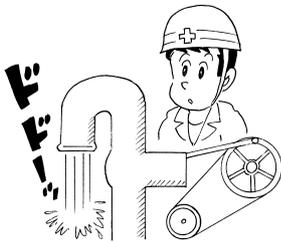
▶商品の詳細については、測器部各営業所にお問い合わせ下さい(全国の営業所を通じてお届け致します)
●測量機・測定器の専門カタログ(約55ページ)もご用意しております。

騒音の種類

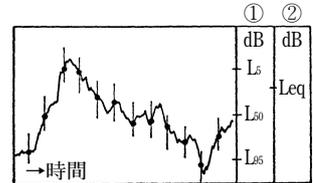
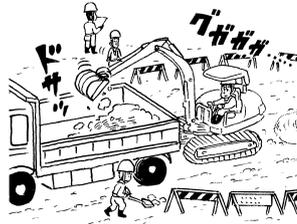
測定した騒音・振動は下記のように、大きく5つの種類に分けることができます。また、種類によって分析方法も変わってきます。

定常騒音 指示値に変動がないか、変動がわずかである騒音。

変動騒音 指示値が不規則かつ連続的に変動する騒音。



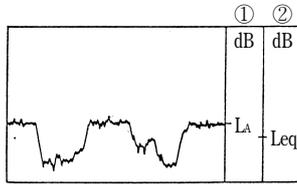
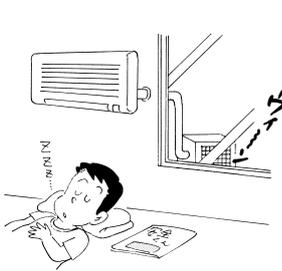
●ふさわしい分析方法
騒音計の指示値の平均値



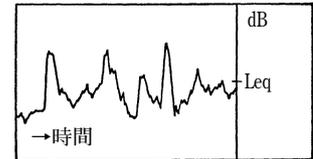
●ふさわしい分析方法
等価騒音レベル (Leq)
時間率レベル (L5)

間欠騒音 指示値がある時間間隔において間欠的に数秒以上ある騒音。

環境騒音 間欠、衝撃騒音を含む総合された騒音。



●ふさわしい分析方法
騒音発生ごとの指示値の平均値
単発暴露から求めた等価騒音レベル

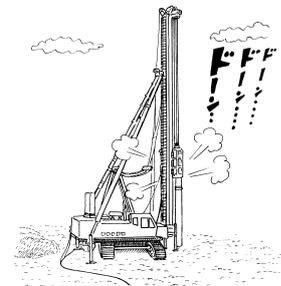


●ふさわしい分析方法
等価騒音レベル (Leq)

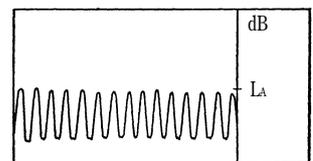
衝撃騒音 一つの事象の継続時間が極めて短い騒音。

①分離衝撃騒音……個々の事象が分離できる衝撃騒音。

②準定常衝撃騒音……ほぼ一定のレベルの衝撃音が極めて短い時間間隔で繰返し発生する騒音。



●ふさわしい分析方法
指示値の最大値の平均



●ふさわしい分析方法
指示値の最大値の平均

※詳しい騒音・振動測定については、JIS Z 8731 (騒音レベル測定方法)、JIS Z 8735 (振動レベル測定方法) をご覧下さい。

特定建設作業における騒音・振動規制基準について

測定値の大きさ	騒音		振動
	85dB		75dB
作業を行ってはいけない時間帯	A	19:00~07:00	
	B	22:00~06:00	
1日の作業時間	A	10時間以内	
	B	14時間以内	
継続日数の制限	A	6日以内	
	B		
日・休日における作業規制	禁止		
測定場所	特定建設作業の場所の敷地の境界線上において測定		

表中A欄は、住居の用に供されている区域、商・工業の用にあわせて、相当数の住居が集合している地域及び学校、病院などの周囲おおむね80mの区域で都道府県知事または令第4条第2項に規定する市の長が指定した区域に適用し、B欄は区域以外に適用する。

■特定建設作業の騒音測定方法

- ・JISZ8731「騒音レベル測定方法」により測定する
- ・使用する騒音計…検定に合格した有効期限内の騒音計*
- ・周波数補正回路…A特性
- ・動特性……………早い特性 (FAST)
- ・特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 (改正:平26環告41) より

■特定建設作業の振動測定方法

- ・使用する振動計…検定に合格した有効期限内の振動レベル計*
- ・振動測定方向……鉛直 (Z) 方向
- ・振動規制法施工規則 (改正:平11総府令26) より

* 弊社の騒音計、振動レベル計はすべて検定合格有効期限内の商品です。